



新潟県で
獣医師。



新潟県獣医師 採用案内 2026



NIIGATA
PREFECTURE

新潟県農林水産部畜産課

新潟県で獣医師を目指す皆様へ



農林水産部畜産課

畜産課 課長補佐 里麻 啓 (獣医師)

皆さん、こんにちは。

私は新潟県に獣医師として採用され、これまで家畜保健衛生所や県庁の畜産課で勤務してきました。現在は畜産課の課長補佐として、畜産振興に関する業務を行っています。

現在、新潟県では、県職員として働く獣医師を募集しています。県職員獣医師は、家畜伝染病予防や衛生管理指導を行う家畜保健衛生所、繁殖に関する研究を行う畜産研究センター、育成牛の繁殖管理を行う妙法育成牧場など、さまざまな職場で専門性とスキルを活かしながら、新潟県の畜産と食の安全を支えています。

このパンフレットでは、県内の家畜保健衛生所で活躍する現役の県職員獣医師の声を紹介しています。どの職員も、日々の業務を通じてスキルを磨き、農家や関係者との対話から学びを得て成長し、地域に貢献することにやりがいを感じるとともに、趣味や家族との時間も大切にしながら、充実した生活を送っています。

「新潟県職員の獣医師ってちょっといいかも。」と感じたあなた。ぜひ、私たちと一緒に働いてみませんか。

ご応募を心よりお待ちしております！

農林水産部組織図

農林水産部

(獣医師 50名)



新潟県宣伝課長
マスコットキャラクター
「トッキッキ」

畜産課

(獣医師 4名)

家畜保健衛生所 (県内5か所)

(獣医師 42名)

農業総合研究所畜産研究センター

(獣医師 3名)

妙法育成牧場

(獣医師 1名)

主な勤務地

中央家畜保健衛生所
佐渡支所 (佐渡市)

下越家畜保健衛生所
(新発田市)

県庁畜産課
(新潟市)

中央家畜保健衛生所
(新潟市)

畜産研究センター
(三条市)

上越家畜保健衛生所
(上越市)

中越家畜保健衛生所
(魚沼市)

妙法育成牧場
(津南町)



県庁畜産課

(新潟市)

●主な業務

- ・家畜衛生業務の計画策定
- ・家畜伝染病の防疫、家畜衛生技術の指導
- ・動物薬事、獣医事の監視指導
- ・家畜衛生に係る統計、報告

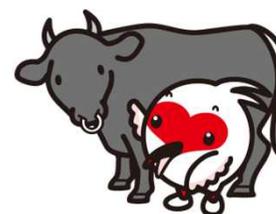


畜産研究センター

(三条市)

●主な業務

- ・受精卵移植技術に関する研究
- ・和牛受精卵及び乳牛の雌雄判別受精卵の提供

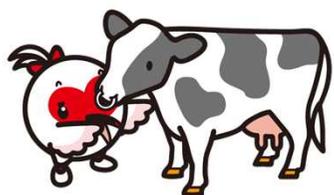


妙法育成牧場

(津南町)

●主な業務

- ・育成放牧牛の飼養管理
- ・乳牛の改良増殖のための人工授精及び受精卵移植



新潟県のブランド和牛
「にいがた和牛」



新潟県のブランド地鶏
「にいがた地鶏」

家畜保健衛生所の仕事



食を守る。

企画指導課 のお仕事



安全な畜産物の確保

- ・農場での食中毒菌(サルモネラ属菌、O157等)の検査
- ・畜産物及び給与飼料における飼料添加物の残留調査
- ・衛生的な管理を行うための農場HACCP認証への協力

薬事、獣医事

- ・動物用医薬品販売業者への適正販売のための立ち入り指導や許可に関する業務
- ・飼育動物診療施設への立ち入り調査

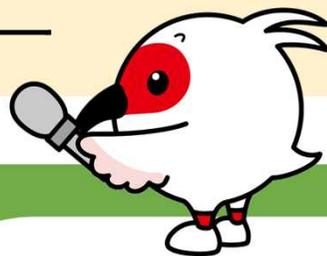
家畜の生産性向上

- ・肉用牛の肉質向上のための血中ビタミンA測定検査及び対策指導
- ・乳用牛の乳房炎防除対策指導

飼養衛生管理基準の遵守徹底のための指導

- ・農場への立ち入り調査を行い、バイオセキュリティ向上を図る
その他、講習会等を開催し、より具体的で実効的な対策を提案

先輩職員のインタビュー



下越家畜保健衛生所 企画指導課
主任 宮下 知世 (獣医師)

私は現在、家畜保健衛生所の企画指導課に所属し、酪農家への飼養衛生管理指導や乳汁検査、診療施設の巡回指導、動物用医薬品販売業の許可など、幅広い業務に携わっています。なかでも、管内酪農家に対する暑熱対策で、牛舎環境の調査や指導を実施し、環境が改善された農家の方から「効果を実感できた」とのお声をいただいたことは、大きな励みになっています。今後は乳汁検査の技術をさらに磨き、農場での乳房炎対策により一層力を入れていきたいと考えています。

退庁後は、子どもたちの育児に追われる毎日ですが、休日には地域の温泉施設で子どもと足湯を楽しんだあと、おいしい地ビールを買って帰るのがひそかな楽しみです。

公務員獣医師は、さまざまな業務を経験しながら獣医学の知識を生かせる、やりがいのある仕事です。仕事だけでなく休暇をしっかり取りながら、充実した私生活を送ることができるのが魅力です。

ぜひ新潟県で一緒に働きましょう！

プライベート

- 休日の過ごし方、趣味
子どもと遊び場巡り、日帰り温泉入浴
- 県内おすすめスポット
月岡温泉、樽ヶ橋遊園
(新発田市) (胎内市)



先輩職員のインタビュー



中央家畜保健衛生所佐渡支所

獣医師 田森 みのり

佐渡島で、牛の血液検査や豚のワクチン接種など家畜の健康を守る業務を行っています。獣医師3名と事務職1名という小さな職場のため、企画指導課や防疫課といった区分にとられず、幅広い業務に携わっています。赴任当初は不安もありましたが、食べ物が最高に美味しく、豊かな自然と人に恵まれた佐渡の環境を、今ではとても気に入っています。

特に印象深い仕事は病理解剖です。死亡牛を解剖し、得られた知見を農家さんに還元することで、家畜の病気を減らすことを目指しています。

小学校でヤギや豚、ポニーなど家畜を飼育したことをきっかけに獣医師を志しました。幼い頃からの夢だった獣医師となった今、この仕事は動物の健康を守ることで、人の健康も守れる大切な仕事であることを実感しています。

今の職場では定時退庁が基本で有給も取りやすいため、家庭菜園や登山などの趣味も満喫しています。ワーク・ライフ・バランスを大切にしながら、共に元気に働きましょう。

プライベート

- 休日の過ごし方、趣味
登山、家庭菜園、合唱
- 県内おすすめスポット
達者海水浴場
(佐渡市)



家畜保健衛生所の仕事

畜産を守る。

防疫課 のお仕事



病性鑑定

・疾病発生時に迅速、的確に病性を診断するため、解剖検査等により原因究明を行い、まん延防止を図り、効果的な対策を指導

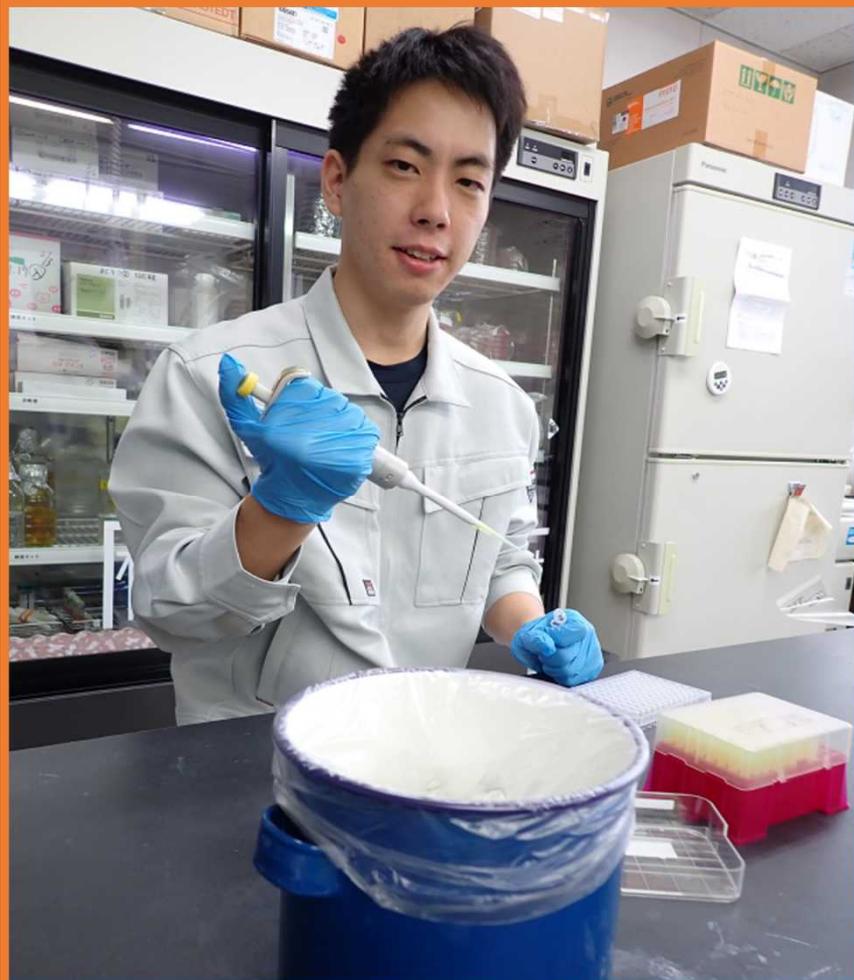
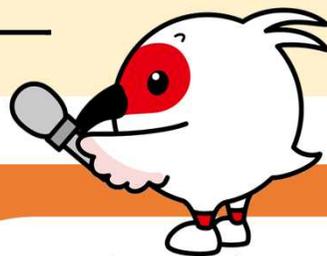
監視伝染病の発生予防とまん延防止のための検査、調査

- ・牛伝染性リンパ腫の清浄化取組への農家指導
- ・ヨーネ病、牛ウイルス性下痢の早期摘発のための検査
- ・豚熱ワクチン接種前後の抗体保有状況調査 ●
- と適切なワクチン接種を指導
- ・PRRSウイルス等の農場内動態を把握することによる疾病コントロール
- ・鳥インフルエンザ抗体検査による定期的なモニタリング ●
- ・ニューカッスル病の抗体調査による適切なワクチン接種の指導

その他、口蹄疫、豚熱、鳥インフルエンザ等の重要疾病を念頭に臨床検査や衛生指導を行い、発生予防に努めています。



先輩職員のインタビュー



中央家畜保健衛生所 防疫課

獣医師 宮島 柁生

私は現在、防疫課で牛の疾病予防、ヨーネ病や牛伝染性リンパ腫といった家畜衛生上、重要な疾病に関する業務に従事しています。まだ戸惑うことも多いですが、先輩の皆様が快く教えてくださるので、分からないことがあっても安心して取り組むことができます。牛に関する業務が中心ですが、中でも牛伝染性リンパ腫に関する業務が印象に残っています。大学生の間にも学ぶ機会は多かったのですが、実際に感染牛のいる農場の状態は想像とは異なるもので、牛房スペースや防虫、各作業の負担など様々な課題が多く、感染拡大を防ぐための対策を講じるのはなかなか難しいと感じました。

退庁後は運動や自炊、ゲームなど、自分の好きなことに使う時間が多く、緊急時以外は土日に出勤することもないため、のびのび過ごすことができます。また、祝日も休みになるので連休の際は旅行に行くことも多いです。

まだまだ知識不足、経験不足で分からないことが多いため、日々の業務に加え自主的に学習を行って農家の皆様のお役に立てるよう努力したいです。

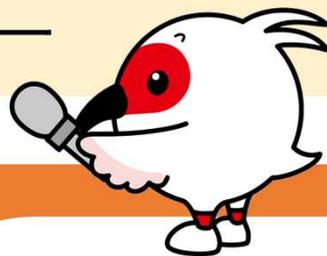
プライベート

- 休日の過ごし方、趣味
旅行、運動、ゲーム
- 県内おすすめスポット

日和山浜
(新潟市)



先輩職員のインタビュー



下越家畜保健衛生所 防疫課
獣医師 増門 宙

私は現在、先輩方や上司の業務の一部を担い、横断的な業務の理解と手技の向上を目指しています。突発的に入る病性鑑定などは検査や調書の作成など担当をしています。

社会人になるまで豚に触ったことすらなかったのですが、配属2日目にいきなり豚30頭の採血を行う仕事がありました。その時は上司に教わりながら何とか時間をかけて手探りで行いました。その約半年後に同じ内容の仕事を行ったのですが、前回よりも時間の短縮が叶い、自分の技術の向上を実感し、成長を感じられて、とても嬉しかったです。

退庁後は時間や体力に余裕のある時はジムに行き、趣味の筋トレをすることが多く、帰宅後はゆっくりゲームをしたり、本を読んだりして過ごすことが多いです。休日は少し凝った料理を時間かけて作ったり、もう一つの趣味である競馬を見て一喜一憂したりしながら過ごしています。

博士号の取得をすることが現在の一つ大きな目標なので、いつか取得できるように頑張りたいと思っています。

プライベート

- 休日の過ごし方、趣味
料理、競馬、筋トレ
- 県内おすすめスポット
新潟競馬場
(新潟市)



家畜保健衛生所の仕事



精密検査を担う。



病性鑑定課 のお仕事



高度な検査機器を用いて、家畜保健衛生所が採取した検体の精密検査を行います。また、家畜保健衛生所職員の検査技術向上のため研修会を開催しています。

ウイルス：発育鶏卵や培養細胞を用いたウイルスの分離検査、PCRや蛍光抗体法等の抗原検査、ELISAや中和抗体法等の抗体検査により、ウイルス性疾患の診断を行います。

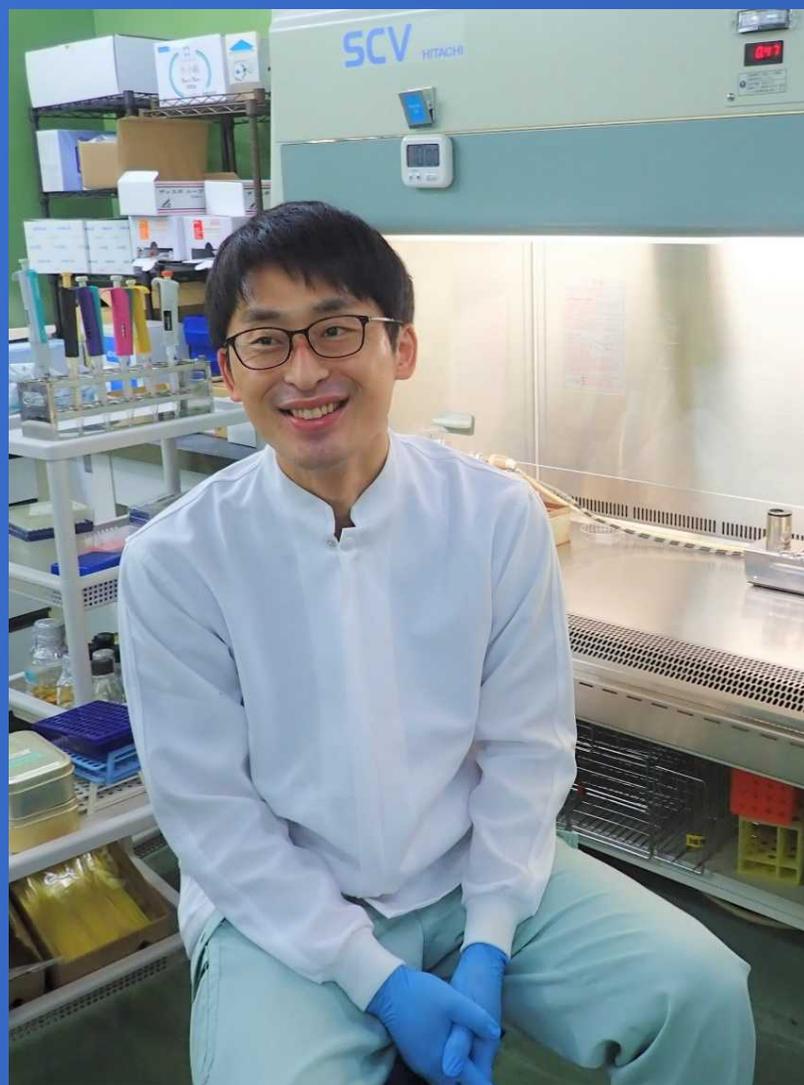
細菌：培養が難しい一部の細菌の分離検査、PCRや性状検査による菌種の同定、ELISA等の抗体検査により、細菌性疾患の診断を行います。その他に、近年問題となっている薬剤耐性菌の調査も行っています。

病理組織：解剖検査で採取された臓器から組織標本を作成・染色し、組織診断を行います。

生化学：高速液体クロマトグラフ等の分析装置を用いて、飼料や血液に含まれる成分を測定し、ビタミン欠乏症等の代謝病や植物中毒の診断を行います。



先輩職員のインタビュー



中央家畜保健衛生所 病性鑑定課
主任 佐藤 圭介 (獣医師)

私は現在中央家畜保健衛生所の病性鑑定課に所属し、細菌の精密検査を担当しています。細菌を病原体とした伝染病の検査や家畜疾病の診断にあたり、菌種同定等を目的としたPCR検査や、培養が困難な一部の細菌の分離培養等を行っています。家保での仕事は、家畜の感染症に関する知識や検査技術など大学で学んだことが生かされ、またより実践的で専門的な知識が求められることも多いため、さらに深く追求できることが魅力の一つだと考えています。業務内容も幅広いため、さまざまな職種やスペシャリストの方々と接する機会も多く、日々学んだり刺激を受けることもできています。また畜産農家の生産性向上のため、伝染病の検査や衛生指導を通じ、家畜衛生の分野からサポートしていることにやりがいを感じています。

プライベートも充実させやすいと思います。趣味や子育てにも熱中できており、ワーク・ライフ・バランスのとれた生活を送ることができています。

プライベート

- 休日の過ごし方、趣味
ランニング、ウィンタースポーツ
- 県内おすすめスポット
越後長岡丘陵公園
(長岡市)





採用情報について

令和8年度における新潟県職員（獣医師）の募集概要は、次のとおりです。



先輩の声

サポート制度が整っており、子育てしながら働けます。育休を取得する男性職員も多く、育児休業（3歳未満）を始め、年次休暇（20日）の他、家族看護・子育て休暇（最大12日）は子どもの学校行事参加にも使えます。時短勤務、早出遅出勤務、在宅勤務（テレワーク）などの働き方も可能です。



職種

☞ 獣医師

採用予定人員

☞ 7人程度（変更になることがあります）

職務内容

☞ 知事部局の本庁各課又は動物愛護センター、食肉衛生検査センター、地域振興局健康福祉（環境）部及び家畜保健衛生所等地域機関で職種に応じた業務に従事します。

勤務条件

☞ 勤務時間等

勤務日 月曜日から金曜日まで

勤務時間 午前8時30分から午後5時15分まで（休憩時間：正午から午後1時まで）

☞ 給料

学歴、勤務経験等によって異なりますが、大学新卒者（24歳）の場合、概ね **月額 291,964円**（R8.4.1現在、初任給調整手当を含む）

☞ 諸手当

時間外勤務手当及び休日給を支給します。

地域手当、期末手当、勤勉手当、扶養手当、通勤手当、住居手当等

採用選考考査に関する詳しい情報はこちら→



獣医師を目指す学生さん必見!!



新潟県獣医師確保修学資金給付事業

将来、新潟県内で産業動物獣医師及び家畜防疫員として活躍しようと志している獣医学を専攻する学生に対し、新潟県が修学資金を拠出し、公益社団法人新潟県畜産協会が条件付きで給付を行う事業です。

対象者

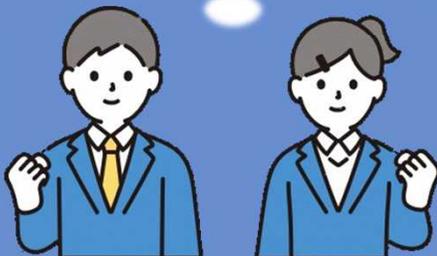
- ☞ 大学において獣医学を専攻し、卒業後に新潟県内で産業動物獣医師として従事を希望する学生

給付額 (いずれも上限)

- ☞ 国公立大学に在籍している場合 **月額 100,000円**
- ☞ 私立大学に在籍している場合 **月額 180,000円**

給付条件

- ☞ 獣医師国家試験の受験資格を取得した日から2年以内に獣医師免許を取得すること
- ☞ 獣医師免許取得後、原則1年以内に新潟県内で産業動物獣医師として就業すること
- ☞ 契約に定める、返還債務の履行の猶予等の限度を超えて、家畜衛生等に係る技術協力で海外に派遣されないこと、又は就業予定先の都合で産業動物獣医師としての業務以外の業務に従事しないこと
- ☞ 給付契約に定める期間(給付月額が10万円の場合は給付期間×3/2、18万円の場合は給付期間×5/3)以上、新潟県内で産業動物獣医師として従事すること



詳しい情報はこちら→





獣医学生インターンシップ

家畜保健衛生所では、将来、公務員獣医師として働いてみたい、又は、興味がある獣医学生の方を対象に、インターンシップを実施しています。獣医師の職場を体験してみませんか？



対象者

☞ 獣医系大学に在籍する学生（学年は問いません）

実習施設及び期間

☞ 実習施設 中央家畜保健衛生所（新潟市西蒲区）
下越家畜保健衛生所（新発田市）
中越家畜保健衛生所（魚沼市）

☞ 実習期間 5日間（相談に応じ変更可能）

☞ 主な実習内容

- 家畜保健衛生所業務の概要説明
- 家畜伝染病予防法について
- 飼養衛生管理基準について など
- 畜産農場（牛、豚、鶏）の検査・巡回指導
検査材料の採取 など
- 病性鑑定
解剖検査、細菌検査、生化学検査 など
- 各種検査
乳汁検査、サルモネラ・病原性大腸菌等の分離培養、
HI検査、ELISA など



体験者の声

- これまでぼんやりとしかイメージできていなかった県の獣医師という仕事が、どのようなものであるか明確になった。
- 新潟県の畜産を守るうえで獣医師が重要な役割を担っているということが良くわかった。



お気軽にお問い合わせください。
担当窓口（県畜産課家畜衛生係 025-280-5308）

詳しい情報はこちら→



将来、どこで、どんな仕事につき、

どんな暮らしをしたいか考えてみませんか？



【お問い合わせ先】

新潟県農林水産部畜産課

電話 025-280-5308

メール ngt060050@pref.niigata.lg.jp

新潟県畜産課のページはこちら→

